

## 「2024年度香港中文大学サマースクール派遣参加報告書」

京都大学医学研究科 修士課程2年 大橋 沙葵

**①学習成果**

今回の短期留学で、私の語学力は大幅に向上しました。中国語学習歴0の状態からスタートした私が、今では簡単な自己紹介や料理の注文、道案内などの日常会話ができるようになりました。さらに、2024年9月にはHSKの試験を受ける予定で、帰国後も語彙力を増やすために学習を続けています。また、英語でのコミュニケーションに対しても自信がつかえました。些細な例ですが、ホテルで「Where is the restroom?」と英語で尋ねて通じたことや授業中に先生に英語で自分の意見を伝えられたことが印象に残っています。現地では、様々な国籍の人々の英語を聞いて、アクセントの違いを感じ、またシンプルな単語で会話が成り立つことを学びました。しかし、英語力が十分でないと、深い話ができずに人間関係を深めることが難しいという課題も感じています。

さらに、次の留学や国際交流への意欲が高まりました。特に2025年3月に予定している台湾での短期留学を計画しており、中国、香港、台湾の文化に対する理解をさらに深めたいと考えています。また、2024年秋にはKCJSの日英会話パートナーやボランティア活動への参加を希望しており、国際交流を続けていきたいです。

加えて、今回の文化交流を通じて日本を再評価する機会にもなりました。日本のご飯、温泉、沈黙の文化など、今まで当たり前だと思っていたものが実は非常にユニークで魅力的であることに気づきました。特に、海外に出ることで日本の良さを再確認できたことが大きな成果です。

**②海外での経験**

香港での文化体験は非常に充実していました。Chinese Paper Fan Painting Workshop、Seal Engraving、Chinese Cooking Classなどに参加し、それぞれのワークショップでプロの先生から直接指導を受けました。例えば、Chinese Paper Fan Paintingでは、デリケートな紙扇子に絵を描く技術を学び、自分のスタイルを反映させた作品を作成しました。Seal Engravingでは、自分だけの中国の石印をデザインし、刻印を体験。また、書道の技術も学びました。Chinese Cooking Classでは、焼賣（シュウマイ）を作り、ビーガンオプションも体験できました。

これらの文化体験だけでなく、他大学の学生との交流も非常に有意義でした。香港の学生は日本文化に非常に興味を持っており、特に旅行先として日本が人気です。京都や東京、北海道など、幅広い地域に関心を持っていることに驚きました。また、たまたま私の地元の大学へ交換留学していた学生と、地元の話で盛り上がることもできたのも楽しい思い出です。今後もプログラムを通じてできた友人たちと会う予定があり、国際的な友好関係が続くことを楽しみにしています。

**③プログラム内容**

今回のプログラムでは、初級、中級、上級のクラスに分かれ、午前中は文法クラス、午後は会話クラスがありました。今年は例外的に、文法クラスが日本人クラスと日本人以外のクラスに分かれました。日本人クラスでは、発音練習に特化した時間が非常に有意義で、日本語話者が苦手とする部分を重点的に練習することができました。同じ日本人クラスであっても、学生たちは多様なバックグラウンドを持っており、異文化交流の機会も多くありました。

共同セミナーでは、京都大学の学生が寿司文化や小学生の遊びを紹介し、中文大学の学生が宗教や食文化、伝統的なお祭りについて紹介しました。発表前後に直接カジュアルな交流をすることで、より深い学びを得ることができました。特に、香港では日本の文化が非常に浸透しており、寿司文化や日本の商品が人気であることを再確認しました。たとえば、中文大学の学生が「キャンメイク最高!」「王将とスシローが好き!」と言っていたのが印象に残っています。

また、香港ツアーでは、Victoria Peak や Tsim Sha Tsui Clock Tower、Avenue of Stars などの観光地を訪れ、週末には Ngong Ping 360 や Po Lin Monastery でのベジタリアンランチ、Tai O Fishing Village も体験しました。これらのイベントを通じて、クラスメイトだけでなくプログラムに参加するさまざまな国籍の学生と交流する機会が増え、友情を深めることができました。

#### ④進路への影響

今回の留学で、国際的なキャリアを目指す意識が一層強まりました。特に、言語や文化を超えて社会問題を解決することを目標にしており、自分の得意と好きである AI とビッグデータ解析の専門知識を活かして世界的な社会課題に取り組んでいきたいと考えています。また、日本に対する愛着も増しました。日本は安心・安全で暮らしやすい国であることを再認識し、その魅力を改めて感じました。日本のエンゲージメントを高め、国全体の元気を引き出すための貢献を目指したいと思います。自分自身の経験や知識を、国際的に価値ある形で提供することが今後の課題であり目標です。